

食と健康に関するアンケート調査
結果報告書

平成29年(2017年)3月

豊中市

目次

第1章	調査実施の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章	幼年期・・・・・・・・・・・・・・・・	4
第3章	少年期・・・・・・・・・・・・・・・・	72
第4章	青年・壮年・中年・高年期・・・・・・・・	116
参考	調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	225

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

- (1)健康づくり計画(実施期間:H25~35年度)中間評価および見直し改訂版策定の基礎資料とするため。
- (2)第2期食育推進計画実施評価および第3期食育推進計画(実施期間:H30~34年度)策定の基礎資料とするため。

2 調査方法及び調査対象

- (1)調査方法 郵送調査法(郵送配布、郵送回収)

※回答は郵送、インターネット、電話でも可とした。

- (2)調査対象 (居住区・性別・年齢層別に住民基本台帳より無作為抽出)

- ① 幼年期調査(0~5歳児を持つ保護者)
- ② 少年期調査(小学校6年生または中学3年生の本人と保護者)
- ③ 青年期以降各年代別調査(16~20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上)

- (3)調査時期 平成28年(2016年)10月1日(土)~10月11日(火)

3 回収結果

調査内容		発送数	有効回答数 (回答方法のうちわけ 郵: 郵送、イ: インターネット、電: 電話)	有効回答率(%)
①幼年期調査		780	392 (郵: 374、イ: 18、電: 0)	50.5
②少年期調査		1,005	393 (郵: 386、イ: 7、電: 0)	39.1
③青年期以降年代別調査		7,215	2,684 (郵: 2,629、イ: 54、電: 1)	37.2
青年期以降 年代別内訳	16～29歳	1,750	297	17.2
	30～39歳	1,255	370	30.2
	40～49歳	1,150	359	31.7
	50～59歳	975	377	39.2
	60～69歳	685	340	50.7
	70歳以上	1,400	739	53.8
	年齢無回答	-	202	-

4 報告書の見方

- 「n」(number of case)は、設問に対する有効回答数。
- 回答結果の割合「%」は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものであり、単数回答であっても、合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の設問は、回答者数に対する割合を表記しているため、合計が100.0%を超える場合がある。
- 属性別のクロス集計分析におけるサンプル誤差は、50サンプルで最大13.9%、30サンプルで最大17.9%発生する。

この誤差を考慮して、30サンプル未満の属性の回答比率についてはグレー文字で表記し、参考値として扱う。